



# 小さき花の園 相談支援部 通信 No1



2019年11月発行

## ☆ ご挨拶 ☆

初冬の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当事業所に対しご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ここ、厚生労働省においては支援の「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えあいながら、自分らしく活躍できる「地域共生社会の実現」を目標としています。それに伴って障害を抱える児者やご家族を取り巻く環境も大きく変わってきています。そこで地域の福祉サービスの状況や在宅生活を行う上で必要なことなど、皆様に知っておいていただきたい情報発信ツールとしてこの『小さき花の園相談支援部通信No1』を発行します。今後も不定期になってしまいましたが、情報を発信していきたいと思っております。



第1弾は『地域で生活するために自分たちでも行わなければならない  
防災対策について!!』



今年は台風による被害が大きく、当園では台風時に10時間ほどの停電を経験し、鎌倉市においても道路の陥没など日常生活に影響する災害が起きました。地球温暖化に伴い、今後もこれまで想定しなかった災害が起こるのではないかとされています。また南海トラフに代表される大地震も10年以内に起きる確率は高くなっています。在宅で生活

台風19号では小さき花の園も10時間ほど停電しました。各家庭で対策や準備をお願いします。

## されている皆様は、各家庭での防災対策はどのように行っていますか？

2019年10月27日に神奈川県立こども医療センターで行われた『みんなの防災文化祭』に参加してきました。まず神奈川県健康危機管理課より『神奈川県における災害時の保健医療救護体制について』という講演がありました。次はご自身も重度の知的障がいの子を持つ母親の立場から福祉防災コミュニティ協会上級コーチとして大阪を中心に活動されている温井（ぬくい）恵美子様の講演がありました。阪神大震災や東日本大震災を経て、日本の災害医療体制もだいぶ整備されたようです。しかし災害というものは障害児者当事者、ご家族も被災者であると同時に、自治体や福祉施設の職員もみな被災者であること。その為には『自助（個々でできる防災対策）』『公助（公的援助）』『共助（地域の人と支え合う）』のいずれも同じように準備が必要という話が印象に残りました。

私自身、台風19号を前に直前に買い物に行って水やパンが売り切れているという状況や当園においては職員が出勤できないという状況から支援者確保しなければならない困難さや停電時の対策や準備を体験し、普段からの備蓄や災害対策を考え直さなければならないと感じていたところでの話でした。

そこでもう一度、『皆さんはご家庭でどのような防災対策を行っていますか？』

是非この機会に備蓄の期限チェックや内服薬の残量などを一度見直してみてもは？





**非常時準備品  
チェックリスト**

※こども医療センター地  
域連携・家族支援局作成『備  
えていますか?～災害が起  
きたらどうする!?～』より

※おむつ交換用にミニテ  
ントや車のサンシェード  
などがあると便利!

※子供の好きな玩具やお  
菓子等もあると良い!

品名	点検日	品名	点検日
<input type="checkbox"/> 食品、栄養剤、ミ ルク等		<input type="checkbox"/> 保温シートや毛布 等	
<input type="checkbox"/> 薬、お薬手帳		<input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電 池)	
<input type="checkbox"/> 診療材料(シリン ジ、吸引チューブ、 呼吸器加湿器の水、 酸素カニューレ等)		<input type="checkbox"/> ビニール袋、サラ ンラップ	
<input type="checkbox"/> 衛生材料(ガーゼ 等)		<input type="checkbox"/> 携帯電話充電電池	
<input type="checkbox"/> 蘇生物品(アンピ ューバック等)		<input type="checkbox"/> ティッシュ、ウェ ットティッシュ	
<input type="checkbox"/> 非常用電源		<input type="checkbox"/> 水	
<input type="checkbox"/> おむつ、お尻拭き		<input type="checkbox"/> 着替え	



<鎌倉市津波ハザードマップ  
より>

津波発生時、小さき花の園  
の周辺道路はハザードマ  
ップによると影響が出る  
ことが予測されます。津波  
発生時はどこに避難する  
のか?近隣の避難所の情  
報を収集しましょう!

**『要援護(支援)者登録制度』**

・自力で避難が困難な障がいのある方などのための制度です。詳しくはお住いの市町村へお問い合わせください。

**停電時の備え**

手動や足踏み式吸引や発電機  
の導入、ガスコンロの  
準備に加え、人工呼吸器使  
用者は東京電力に登録する  
制度もあります。

※今後も知りたい情報など、ご意見・ご要望等ございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ：小さき花の園 相談支援部(守・金子・菊田) TEL:0467-31-6703/FAX:38-1363